



# 中学生取材記

このページは中学生の職場体験で、取材やレイアウトを自ら行い、作成しました。



インタビュー  
第6回福祉機器アイデア  
コンテスト・最優秀賞受賞  
明神ひかりさん

県立高浜高校福祉科一年生の明神ひかりさんが、第6回福祉機器アイデアコンテストの自由課題で、最優秀賞を受賞しました。

作品名は『トイレットペーパー「楽切君」』です。



## コンテストに参加した理由

夏休みの補習で授業を受けていたときにクラスのみんながこのコンテストに参加しようということになり、夏休みの宿題ということで、トイレットペーパー「楽切君」を作りました。

## トイレットペーパー

### 「楽切君」とは?

作品を考えたいきっかけある日トイレットペーパーを切ろうとしたところ、とても面

倒でやりにくいと感じました。私でもそう感じてしまうのなら、「高齢者の方や、障がい者の方はもつと不便だろうな」と思いこの作品を作ろうと思いました。この作品には、トイレットペーパーホルダーのカバー部分を押すだけで片手でも簡単に切ることが出来る便利さ、手軽さがあり、また、目が不自由な人のためにカバー部分を目立つように赤色にすることを工夫しました。

## 福祉に興味を持ったきっかけ

一昨年、癌で亡くなった祖母の看病を祖父がやっていました。私はそのとき本当は手伝いたかったけど、何をしていたのか分からず、ただ見ていることしかできませんでした。自分が祖母のために何もできなかったことを悔やむと同時に「今後、家族の誰かが倒れたときに、誰か世話をしてくれるのか?誰もできないなら私がやろう」と思い福祉や介護に興味を持ちはじめました。

## 将来の夢

将来は介護福祉士になりたいと思っています。介護福祉士になるためには、国家試験に合格しなければなりません。合格するためにもしっかり勉強を頑張りたいと思います。

## 伝統への第一歩 自然の恵みに感謝して

11月8日に衣浦湾で第1回高浜ロングレガッタ交流会が行われました。

この約9キロメートルの距離を5人で進んでいくという過酷なロングレガッタは、衣浦湾という豊かな自然があるからこそできるものと言えます。

今後、豊かな自然を利用した行事として、ひとつの伝統となっていくでしょう。この日、高浜市の新たな伝統への第一歩が刻まれました。



## まちかどニュース



## 高浜ふれあいプラザオープン

11月1日に開館した高浜ふれあいプラザのオープニングセレモニーが8日に行われました。

セレモニーでは高浜小学校吹奏楽部による演奏や、青パト出発式などを行いました。

高浜ふれあいプラザは、健康づくり体操教室や、おじいちゃん・おばあちゃんから教わろう教室などを実施し、地域のすべての方が互いに支えあいながらふれあうことのできる場です。

今後ここで、たくさんの笑顔が見られることでしょう。



## 編集後記



職場体験の3日間を通して、仕事の大変さと、やりがいを経験することができました。また、人間関係の大切さ、会話の大切さも学びました。

こんな素晴らしい経験をさせてくれた市民や広報関係者の皆さんありがとうございました。この経験を、普段の生活や将来の選択に役立てていきたいと思っています。

高浜中学校2年 岡本拓士



今回、職場体験をさせてもらい、記事の書き方や取材のしかた、カメラの使い方などを学びました。記事を作った後、完成品を見ると、何時間もかけて作ったんだなあと思いました。

何もない一枚の紙から、最終的に一つの記事(広報紙面)を作り上げたとき、仕事をしているんだという実感が湧き、とてもいい経験になりました。

高浜中学校2年 八重尾太郎